

# 技術の向上、後継者育成へ

## 県コンクリート診断士会総会

地濃会長を再任

新潟県コンクリート診断士会（会長・地濃茂雄、新潟工科大学名誉教授）は27日、ほんぽーと新潟市立中央図書館で16年度通常総会を開き、任期満

了に伴う役員改選で、地濃会長が再任した。

総会には会員約70人が出席。15年度事業報告および収支決算、16年度事業計画および収支予算を

審議し、原案通り承認された。事業計画によると、10月と17年2月、ごろに技術セミナー、8月と11月ごろに村上地域と上越地域の塩害による損傷を受けた橋りょう現場で研修会を開催予定。また、現場研修会やこれまでに蓄

積した技術資料を冊子に取りまとめ、県内関係団体へ配布する。

役員改選により、再任した地濃会長は「8年前に新設されたこの会も、会員数が当時の2倍にもなった」と振り返り、

「見学会や研修会を通じて、信頼を築いてきた。これから2年間、次のステップを考

えている。生命、財産を守るのが我々の使命。地域のために技術を向上させ、後継者を育て、故郷の発展に尽くしていきたい」と意気込みを語った。

総会後、講演会が開かれ、国土交通省水管理・国土保全局防災課の森岡

弘道災害査定官が「社会資本の長寿命化対策」を説明した。懇親会では、

テル・エトワール（ピアノ・地濃貴子氏、フルート・星田聖子氏）のミニコンサートの中心、会員同士が親睦を深めた。



あいさつする地濃会長



役員改選などが行われた総会